

# 学習課題(小学校4年生)

## 【社会】



<学習内容>「大雪からくらしを守る」

◆自然災害からくらしを守る取組について、<sup>きょうかしょ</sup>教科書76～93ページや<sup>ちずちょう</sup>地図帳、学校で使っている資料などを参考に学習しましょう。

(1) 下の資料は、世界の主な都市の年間降雪量と人口を表しています。資料を見て答えましょう。



①地図中の都市の中で、札幌市の人口は何番目に多いですか。

( )

②地図中の都市の中で、もっとも雪がたくさん降る都市はどこですか。

( )

③ ①と②から札幌市について気づいたことや考えたことを書きましょう。

( )

(2) 大雪からくらしを守るための札幌市の取組について、下の( )にあてはまる言葉を□からえらび、書きこみましょう。

- ・ふり積もった道路の雪を道路わきによせる作業を(① )といひます。ひとばんに1台の機械で(② ) kmほどのきよりをじよ雪します。
- ・道路わきに積み上がった雪をトラックに積んで雪たい積場に運ぶ作業を(③ )といひます。はい雪した雪はひと冬に札幌ドーム約(④ ) はい分にもなります。
- ・じよ雪センターで働く人たちは、(⑤ ) 時間交代しながら仕事をします。夜中12時にはじよ雪作業を始め、(⑥ )、会社や学校へ行く時こくには作業を終えます。

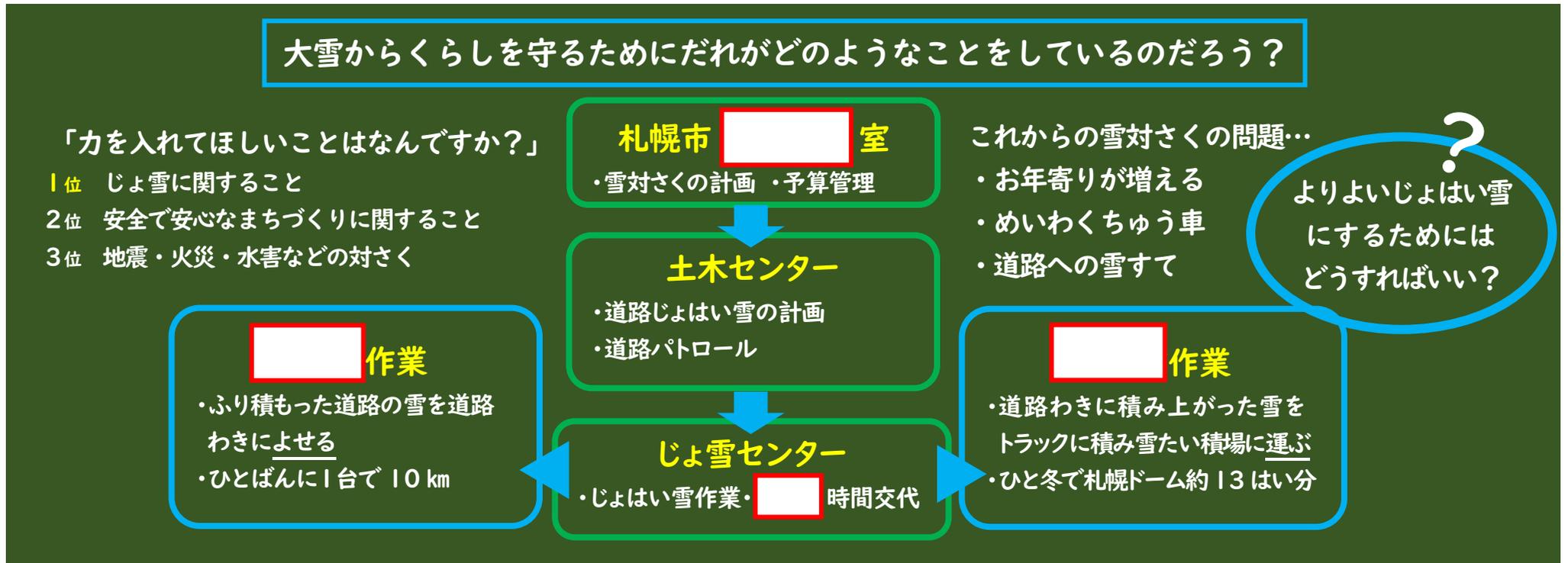
はい雪    じよ雪    100    10    13    24    昼    朝

(3) 「大雪からくらしを守る」の学習をふり返り、【やってみよう】にちょうせんしましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、大雪から私たちの生活や安全を守るために関係機関が協力して対処していることを学びます。(3)に取り組む際には、人口減少などの課題を踏まえ、今後の除排雪の在り方について、ぜひ話し合ってみてください。

【やってみよう】◆「大雪から暮らしを守る」についての学習をふり返りましょう。



①上の黒板の図の中の( )にあてはまる言葉を右の  からえらんで書きましょう

じよ雪 はい雪  
24 雪対さく 災害対さく

②札幌市はこれからお年寄りが増え、市の人口もへっていきます。今のようなじよはい雪システムは続けられなくなるかもしれません。これからもよりよいじよはい雪にしていくためにどうすればよいでしょうか。自分の考えを書きましょう。
